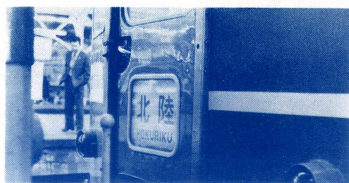


- 昭和53年10月20日印刷
●昭和53年12月1日発行
●編集・発行者 竹島紀元
●編集スタッフ

塚本雅啓／松尾定行／宮原正和
日比 彰／沖 勝則／三浦 衛

1978・12 NO.141 Vol.12 NO.12



- アートディレクト 唯野信廣
●発行所
(株)株道ジャーナル社 ©
〒102 東京都千代田区飯田橋4-8-6
日産ビル 電話03(264)1891・1892
振替口座 東京9-82820
●印刷所 凸版印刷株式会社

国鉄の53・10、ダイヤ改正がスタートした。東日本地区の特急増発 安定輸送の確保 貨物輸送の縮小・適正化など 経済低成長時代をバックに国鉄のおかれた位置を認識した手がないダイヤ改正であるが 組合の理解と柔軟な態度もあって混乱もなく軌道にのったのは喜ばしい。白紙ダイヤ改正としては西日本では3年半ぶり 東日本では実に5年ぶりであるが 昭和30年代から急成長の一途をたどってきた特急列車が新しい情勢のもとに見直され 新しい特急時代、に向かって体質改善しようという意図がうかがえる。特急列車が国鉄の中長距離輸送の主力の地位を占めてすでに十余年… 新時代の大衆の足として名実ともに成長していったほしいと思う。その意味で2段ハネ寝台

特急の増加や 正常なダイヤ確保のための一部の特急のスピードダウン あるいは電車特急のトレインマークの模様がえなど一連の改善努力に拍手を送りたい。またダイヤ改正にあわせて実現した紀勢本線新宮電化と振子電車特急の登場も明るいニュースであった。

一方 9月30日夜に日本最古の路面電車である京都市電が83年の歴史をとじた。生まれ出ずるものがあれば消えゆくものもあるのは世のならいとはいえ淋しいことである。この夜かぎりの最終「お別れ電車」を烏丸車庫や京都駅前で見送った人波は数千人。さよならセレモニーの熱狂につきものの怒声や大きな混乱もほとんどなく 市民の惜別の情が切々と感じられた。

●特集 紀勢電化と53・10ダイヤ改正

シリーズ・日本の鉄道⑫ 紀勢西線 電化前夜

青木栄一 7
編集部

ダイヤ改正の舞台裏

鉄道ジャーナル取材班 25

■速報 53・10改正 各地の表情

38

ドキュメント★列車追跡⑳

ドン行〈南紀〉+特急〈南紀〉の旅

種村直樹／沖 勝則 42

鉄道車両＼系列、シリーズ⑩

国鉄381系“振子式”電車

松田清宏 51

今月の撮影地⑥ 南紀海岸と木曽路に振子電車を追う

山村定雄／沖 勝則 62

中国鉄道見聞記

斎藤雅之 66

中国の鉄道(下)

池田寿亀 74

新・RJメカニズム HRDブレーキ

80

ニュース・ファイル(国鉄・私鉄・海外鉄道の動き)

83

★レールウェイ・トピックス

名古屋市地下鉄鶴舞線が延長

徳田耕一 82

活躍を始めたスユニ50

87

札幌地下鉄3000系

北野陽一 88

北恵那鉄道が54年の歴史を閉じる

徳田耕一 90

姿を消した京都市電

91

嵐が丘を駆ける鉄の馬

クリス・ベイツ 92

新・ヨーロッパの鉄道——9

山之内秀一郎 96

‘急行列車’再発見⑥ 伝統の大社夜行くださいせん

102

★RAIL人生③ 関沢新一さんの世界

105

★シリーズ・現場

通す——踏切警手

永崎祐之 110

ポスターと書物のドラマ⑫

佐々木桔梗 112

レールウェイ・レビュー

115

かがいてつどう インタロダクション

本島三良 122

新しい軽電車時代へのいざない③

野村 董 123

車両とともに30年

田邊幸夫 128

旅行案内記 よもやま話③

沢 和哉 132

さくいん (53年7月～12月)

138

タブレット

139

次号予告／ジャーナル編集室／乗務員室

142

ブルー・トレイン

116

◆ワイドレンズ／記念キップ・コーナー(116)◆RJクイズ／鉄道友の会だより(117)◆鉄道記事ざっくばらん／魚眼(118)◆Q&A／ズームレンズ(119)◆書評／新刊紹介(120)◆外国趣味誌紹介(121)

表紙★紀州路のイメージアップ 西日本地区における53・10のハイライトは やはり紀勢本線の新宮電化であろう。どう見てもアカ抜けないキハ81に代わって登場した381系のスマートな車体は 紀州路の夜明けを感じさせる。紀勢本線は観光路線の性格が強いだけに 一連の改善の成果に期待がよせられている。(カメラ・沖 勝則)